

## 令和5年度 第2回勝浦市地域公共交通活性化協議会 会議録

1. 日 時 令和5年11月17日（金） 午後2時から

2. 開催場所 勝浦市役所 4階 大会議室

3. 出席者

【委員】別紙のとおり

【事務局】勝浦市企画課長（青山） 政策推進係長（渡邊）

4. 会議次第

1. 開 会

2. 議 題

（1）令和5年度地域公共交通確保維持事業に係る生活交通確保維持改善計画の変更について

3. 報 告

（1）デマンドタクシー利用者アンケートの結果について

（2）地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について

4. その他

5. 閉 会

5. 概 要

（事務局・青山）

それでは、定刻となりましたので、ただ今より、令和5年度第2回勝浦市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。私は、勝浦市企画課の青山と申します。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

始めに、資料の確認をさせていただきます。「会議次第書」「委員名簿」「座席表」が一体となったものと、別冊となった資料①・資料②・資料③の以上4点となります。いずれも本日提供させていただいたものですが、お手元にございますでしょうか。

次に、前回の会議より委員の変更がございましたので、ご紹介いたします。委員名簿の15番、勝浦市社会福祉協議会・監事の須金重治様でございます。本日もご出席いただいております。どうぞよろしくお願い致します。

また、本日、千葉県総合企画部交通計画課企画調整班・班長の小松様の代理として出席予定でした山下様、勝浦警察署交通課・課長の石井様、夷隅土木事務所・所長の堀越様の代理として出席予定でした今村様が、急遽、所用により欠席との連絡がありましたので、お知らせいたします。

次に、本日の出席者数について報告いたします。委員総数19名のうち、出席者数は16名です。うち代理出席者2名で、委員総数の過半数に達していることを報告いたします。

次に、本会議につきましては、原則公開としておりますが、現在のところ傍聴の申出がございませんことを報告いたします。

私の方からは以上でございます。これより議事に入りますが、議事の進行につきましては、会長の竹下副市長にお願いしたいと思います。会長よろしく申し上げます。

(会長・竹下)

大変お忙しい中、本協議会にお集まりいただきましてありがとうございます。恐れ入りますが、着座にて議事の進行をさせていただきます。

本日の会議は次第書にありますとおり、議題として、「令和5年度地域公共交通確保維持事業に係る生活交通確保維持改善計画の変更について」、また、報告事項として、「デマンドタクシー利用者アンケートの結果について」「地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について」をご審議いただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議題の1つ目であります、「令和5年度地域公共交通確保維持事業に係る生活交通確保維持改善計画の変更について」を議題とします。事務局より説明を求めます。

(事務局・渡邊)

企画課の渡邊と申します。本日はよろしくお願いいたします。着座にて説明をさせていただきます。

それでは、令和5年度地域公共交通確保維持事業に係る生活交通確保維持改善計画の変更について説明いたします。資料①となります。お手元にご用意ください。

この計画はデマンドタクシーの運行に関し、国の補助金の交付を受けるために認定を受けた計画で、昨年の6月に認定申請書を提出した時点では、地域公共交通計画が策定されておりましたが、計画期間中である今年の2月に勝浦市地域公共交通計画を策定しましたので、その旨の変更をしようとするものです。

この変更が承認されることで、補助金の交付限度額が約150万円増額されることとなります。

提出書類により具体的に説明させていただきますと、1ページが変更届出書で、中段に変更日とありますが、こちらが勝浦市地域公共交通計画を策定した日となっております。次に変更箇所と変更理由でございますが、最後のページをご覧くださいと、表5中段に「地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画、地域旅客運送サービス継続実施計画の策定年月日及び特例適用開始年度」という欄がございます、こちらに勝浦市地域公共交通計画を令和5年2月24日策定した旨を記載してございます。

この変更届出書の提出にあたっては協議会での審議が求められておりますので、本日議題として審議いただいている次第でございます。

説明は以上となります。

(会長・竹下)

ただ今、事務局より説明がありました、「令和5年度地域公共交通確保維持事業に係る生活交通確保維持改善計画の変更について」ご質問・ご意見等がありますでしょうか。

質問等ないようなのでお諮りいたします。「令和5年度地域公共交通確保維持事業に係る生活交通確保維持改善計画の変更について」ご異議ありませんか。

異議なしと認め、「令和5年度地域公共交通確保維持事業に係る生活交通確保維持改善計画の変更について」は承認されました。

続きまして報告に入ります。はじめに、「デマンドタクシー利用者アンケートの結果について」事務局より説明を求めます。

(事務局・渡邊)

それでは、デマンドタクシー利用者アンケートの結果について報告をさせていただきます。資料②になります。お手元にご用意ください。

最初にアンケート調査の概要について説明いたします。

調査対象は、令和4年度及び令和5年度中にデマンドタクシーを利用した方です。

調査時期は、令和5年の7月から8月にかけてです。

調査方法は、アンケート用紙の郵送による発送、返信用封筒による回収です。無記名による回答です。

回収状況は、配布数140人に対して、回答数87人、回収率62.1%です。

調査項目は、

設問①あなたの年齢は？

設問②家族に自動車をお持ちの方はいますか？

設問③あなたは自動車の運転免許証をお持ちですか？

設問④デマンドタクシーの利用頻度は？

設問⑤追加して欲しい共通乗降場所がありますか？

設問⑥日曜日に運行した場合、月に何回くらい利用すると思いますか？

設問⑦デジタル技術による各種サービスを導入した場合、利用しますか？

設問⑧デマンドタクシーの不満点は何ですか？

設問⑨運賃についてどう思いますか？

設問⑩予約センターの対応に満足していますか？

設問⑪運転手の対応に満足していますか？

設問⑫デマンドタクシーの運行について総合的に満足していますか？

設問⑬自由意見となっております。

それでは、設問ごとに説明をさせていただきます。

設問①. 利用者の年齢層ですが、10代が3%、20代がなし、30代は1%、40代がなし、50代が2%、60代が9%、70代が25%、80代が48%、90歳以上が12%となっております。割合で申しますと、70代以上の方の利用が約85%で、利用者の大半を高齢者が占めていることが分かります。また、学生と思われる10代の方の利用も少数ながら確認できます。

設問②. 家族の自動車の所有状況ですが、全体の半数以上の方が自動車を所有している家族が「いない」と回答しております。特に80代以上でその割合が高くなっていることが分かります。

家族の自動車の所有状況に関わらず、個人の自由な意思による移動を促進したいと考えておりますので、デマンドタクシーの利便性を高めることで、家族が自動車を所有している方の利用も増えてくると考えております。

設問③. 運転免許証の保有状況ですが、全体の約82%の方が「持っていない」と回答しています。また、年代別の免許返納数を見ると、70代では免許返納をしていないが、日常的には運転を控えており、デマンドタクシーを利用している方がいることが分かります。

設問④. デマンドタクシーの利用頻度ですが、「これまでに数回」が28人、「年に数回」が21人、「週に1回程度」が21人、「週2～3回」が9人、「週4回以上」が2人となって

おります。

「週 1 回程度」「週 2～3 回」「週 4 回以上」と回答した方が合計 32 人であり、約 4 割の方がデマンドタクシーを移動手段として日常的に利用されていると推測されます。

設問⑤. 追加してほしい共通乗降場所についてですが、「勝浦朝市」「ブルーベリーヒルホテル」「総野園」について追加の希望があったほか、すでに共通乗降場所とされている施設についても記載が見受けられましたので、これは周知不足によるものと考えております。

設問⑥. 日曜日に運行した場合の利用頻度についてですが、「利用しない」「月 1 回」「月 2 回」と回答した方が全体の約 96%となっており、利用頻度は高くないが、一定の運行要望があることがうかがえます。

日曜日の運行については、運行経費が増えることのほか、運転手の確保の面からも簡単な話ではないと認識しておりまして、引き続き運行事業者とも相談をしてみたいと考えております。

設問⑦. デジタル技術を導入した場合の利用意向についてですが、今回は「オンライン予約」「車両の現在地・到着時刻の表示」「キャッシュレス決済」の 3 つの項目についてお聞きしました。いずれの機能も半数以上の方が「利用しない」と回答しておりますが、その中でも「車両の現在地・到着時刻の表示」については、他の項目と比較してニーズが高いことが分かりました。

設問⑧. デマンドタクシーの不満点ですが、「便数が少ない」が最も多く、次いで「日曜日の運行がない」「最終便が早い」という結果でありました。

また、「予約・キャンセルが面倒」「希望時刻に目的地に着かない」や、その他の意見として記載した中にも、利便性の向上という意味では参考になるご意見がありますので、改善の可能性について検討してみたいと考えております。

設問⑨. 運賃についてですが、「適当」と回答した方が約 44%でもっとも多く、「安い」「やや安い」と回答した方が約 41%となっていることから、大半の方がサービス内容に対する運賃負担に満足していただいていることがうかがえます。

設問⑩. 予約センターの対応ですが、「満足」または「やや満足」と回答した方が約 71%であり、「不満」または「やや不満」と回答した方の約 7%を大幅に上回っており、概ね満足していることがうかがえます。具体的な意見として不満足とする意見をいただいておりますので、運行事業者とも共有し改善に努めたいと思います。

設問⑪. 運転手の対応に対する満足度ですが、「満足」または「やや満足」と回答した方が約 62%であり、「不満」または「やや不満」と回答した方の約 12%を大幅に上回っており、概ね満足していることがうかがえます。こちらについても不満足とする具体的な意見をいただいておりますので、運行事業者とも共有し改善に努めたいと思います。

設問⑫. デマンドタクシーの運行に対する総合的な満足度ですが、「満足」または「やや

満足」と回答した方が約 59%であり、「不満」または「やや不満」と回答した方の約 13%を上回っており、半数以上が満足していることがうかがえます。具体的な意見もいただいておりますので、こちらも参考にさせていただきたいと思います。

設問⑬. お気付きの点やご提案等を自由に記載していただきました。

前半が要望事項。次に不満に思っている点、最後が満足している点、を記載いたしました。

改善して欲しい点といたしまして、他の交通機関との接続、運行時間の延長、日曜の運行、便数の増加、運行区域の拡大、回数券の販売などの要望などがありました。

感謝のメッセージも多く記入していただきました。

利用の状況や改善要望の声など今回のアンケート結果、また、この後議題となっている地域全体の公共交通のあり方について検討していく中で、より良い公共交通の実現を図って参りたいと考えております。

以上で、デマンドタクシー利用者アンケートの結果について報告を終わります。

(会長・竹下)

ただ今、事務局より説明がありました、「デマンドタクシー利用者アンケートの結果について」ご質問・ご意見等がありますでしょうか。

(成田委員)

千葉県バス協会の成田です。説明のなかった部分について補足という形で伺いたいと思います。まず 1 点目としてアンケートの配布数が 1 4 0 人ということですが、氏名・住所はどのように確認したのか、利用者ということだが重複する場合もあるのか。2 点目として 1 4 0 人に送付して 8 7 人から回答があったということだが、回答していない人の意見をどのように認識しているのか。3 点目として今回のアンケートの内容は協議会に提案されて委員の皆さんも承知している内容なのか。4 点目として今回のアンケートはデマンドタクシーの利用者ということですが、利用していない方の隠れた意見も重要と考えますが、それをどのように聴取していくかお考えをお聞かせください。

(事務局・渡邊)

お答えします。1 点目につきましては、令和 4 年度と令和 5 年の 7 月途中までの利用者を、日々の運行日報から拾い上げました。名寄せをしておりますので重複はありません。2 点目につきましては、今回のアンケート回答率は 6 2 %でありまして、そこそこ高いものになっていると認識しております。回答いただけなかった方の分も含めて、今回の回答は信頼性が高いものと考えております。3 点目ですが、今回のアンケートの内容につきましては、一部修正した部分もありますが、前回 6 月に開催した協議会で提案をさせていただいたものとなっております。4 点目につきましては、広報誌にデマンドタクシーの運行案内を掲載するのに合わせて、利用されていない方からもご意見をいただきたいということをお願いいたしましたが、残念ながら回答はありませんでした。また、今年 2 月に地域公共交通計画を策定しましたが、これに先立ち市民アンケートを実施しており、ここにはデマンドタクシーについての内容も含まれておりましたので、参考にできるものと考えております。以上です。

(成田委員)

詳細にご説明ありがとうございました。よく分かりました。これは要望になりますが、アンケート結果の報告の際には、参考としてアンケート用紙も合わせて掲載していただいたほうが、議論が活性化すると思いますのでお願いします。また、今後の検討となるかと思いますが、利用されていない方の意見の中には、普段気付かないような貴重な意見があったり、利用されていない方への周知という意味でも有効なものと考えますので、検討の中に付け加えていただけたらありがたいと思います。以上です。

(事務局・渡邊)

利用されていない方へのアンケートの実施については、その方法も含めて検討して参りたいと思います。ありがとうございます。

(会長・竹下)

他にご質問・ご意見はございませんか。他にご質問もないようでございますのでデマンドタクシーの運行につきまして、アンケート結果を踏まえて事務局で引き続き検討・協議を進めていただきたいと思います。それでは、次に移ります。

次に「地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について」事務局より説明を求めます。

(事務局・渡邊)

それでは、地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について報告をさせていただきます。資料③になります。

今年2月に策定した勝浦市地域公共交通計画の推進に向けた取組として13の実施事業が掲げられておりますが、そのうち事業1「デマンドタクシーの運行サービスの見直し」、事業5「路線バスの維持」について、また、具体的な実施事業としては掲げられ下りませんが、基本理念である「生活しやすいまちづくりを支える公共交通網の構築」の達成を推進する取組として「自家用有償旅客運送」の導入について検討しておりますので、現時点での状況を報告させていただきます。

まず、デマンドタクシーについてでございますが、運行区域の拡大と乗降ルールの変更を検討しております。具体的には、1つ目として自由乗降場所として新官の一部と部原の全部の追加です。これは後ほど路線バスの説明の際にも触れますが、路線バスの勝浦御宿線を廃線し、デマンドタクシーの運行によりカバーしようとするものです。

2つ目として、こちらは1つ目と関連しますが、廃線とした路線バスの勝浦御宿線のうち御宿側について、勝浦市のデマンドタクシーで乗降できる共通乗降場所を設置しようとするものです。

3つ目として勝浦・浜勝浦・川津に共通乗降場所を新たに設置しようとするものです。

4つ目として、共通乗降場所間での乗降を可能とする乗降ルールの変更を行うとするものです。

3つ目と4つ目については関連がありますので、もう少し詳細を説明いたします。2ページをご覧ください。

地図上の赤い丸印が既存の共通乗降場所で、青い丸印が新たに勝浦・浜勝浦・川津に設

置しようとする共通乗降場所です。

また、現在の乗降ルールではできない共通乗降場所間での乗降を、市街地の共通乗降場所間に限り相互の乗降を可能とする乗降ルールの変更をしようとするものです。

このことにより勝浦・浜勝浦・川津の住民が、最寄りの共通乗降場所から勝浦駅やベイシアへの移動にデマンドタクシーが利用可能となり、また、複数の目的地（共通乗降場所）間の移動にデマンドタクシーが利用可能となることとなります。

1 ページ目に戻っていただきまして、次に路線バスについてでございますが、1 つ目に勝浦・御宿線の廃線、これはこの地域をデマンドタクシーに切り替えようとするものです。

2 つ目にミレーニア線の沢倉への延伸を検討しております。検討と申しましても路線バスの運行については小湊鉄道株式会社様による運行ですので、相談をしているといった状況でございます。

ミレーニア線の沢倉への延伸については詳細を説明いたしますので、3 ページをご覧ください。現在、ミレーニア勝浦と市役所を結ぶミレーニア線は、ベイシアの前を通り消防署のところを右に曲がった後、市営住宅・梨の木団地脇の坂を上り市役所に向かっておりますが、これを変更して沢倉内を大きく迂回する形で運行できないかご検討いただいている状況でございます。

1 ページ目に戻っていただきまして、次に自家用有償旅客運送についてでございますが、総野地区における自家用有償旅客運送の導入の可能性を検討しております。まずは自家用有償旅客運送の制度について説明いたしますので4 ページをご覧ください。

自家用有償旅客運送は、バス・タクシー事業が成り立たない場合であって、地域における輸送手段の確保が必要な場合に、必要な安全上の措置をとった上で、市町村やNPO 法人等が、自家用車を用いて有償で提供する運送サービスです。有償によるサービスですが、旅客から収受する対価は営利を目的としない妥当な範囲内と規定されております。

根拠となる法律は、バスやタクシーの運行について規定されている法律と同じく、道路運送法となります。道路運送法の78条・79条に規定されております。

また、資料には記載がありませんが、令和2年11月の制度改正により、運行管理や車両整備等について交通事業者の協力をいただき運行する、事業者協力型自家用有償旅客運送というものができました。今回はこの事業者協力型自家用有償旅客運送の導入の検討となります。

それでは、具体的にどのような運行を検討してるかご説明いたしますので、5 ページをご覧ください。

現在、検討している事業者協力型自家用有償旅客運送につきましては、参考にしている取組がありまして、富山県朝日町の「ノッカル朝日町」というものです。

こちらは地域住民が日常的に行うマイカーでの移動に、地域住民が相乗りするといった、共助型の公共交通となっております。

運行サービスのイメージを簡単に申しますと、利用日の前日までにスマートフォンからのオンライン予約か、予約センターに電話して予約していただき、ドライバー登録された地域住民のマイカーに相乗りすることで、公共交通が不便な地域と市内の市街地との間を移動することとなります。

総野地区での運行を検討していると申し上げましたが、総野地区も広いので3地域程度に分割し導入することを考えております。今回は松野を中心とした中倉・市野川・蟹田での運行イメージを例示させていただきます。

松野周辺から市街地に向かう場合を説明いたします。乗降場所として市野川、中倉、勝浦診療所、総野郵便局、総野集会所を順に回りながら利用者を乗せて市街地に向かいます。市街地側では、勝浦駅、塩田病院、ベイシア、市役所の順に回りながら、利用者を降ろしていきます。市役所に到着、または利用者がすべて降りたらドライバーはご自分の用事を済ませていただくことになります。

帰りは逆に、市役所、ベイシア、塩田病院、勝浦駅を順に回りながら利用者を乗せて、総野集会所、総野郵便局、勝浦診療所、中倉、市野川を順に回りながら利用者を降ろしていきます。なお、利用の予約がない乗降場所には立ち寄りません。

運賃の案としては、デマンドタクシーの料金に合わせて400円程度でどうかと考えております。また、1乗車につきドライバーに200円、協力事業者に200円を支払うことをイメージしておりますが、運賃や委託料については引き続き皆様の意見をいただきながら検討してまいりたいと考えております。

6ページをご覧ください。既存の路線バスのダイヤに配慮しつつ、こういった運行を設定していけたらと考えておりますが、例としてこの自家用有償旅客運送による運行を1日4往復入れたダイヤを作ってみました。

着色された部分が自家用有償旅客運送による運行となりますが、「市野川」発8時15分の便につきましては、8時45分に「市役所」に到着し、1時間30分後に再び「市役所」を出発して「市野川」に向かって行くこととなります。ドライバーさん自身の用事は、この1時間30分の間に済ませていただくことを想定しております。

資料では1日4便の自家用有償旅客運送による運行を組み入れておりますが、実際には地域の方に担っていただくドライバーさんがいなければ運行できません。複数のドライバーさんの登録があれば、多くの運行が可能となります。また、乗降場所や運行時間は、地域の方々と協議していただき決定することとなります。

協力事業者としての交通事業者の役割について説明いたしますと、利用者からの電話による予約受付、ドライバーの調整、ドライバーの体調確認などを考えています。

また、最初はなかなか地域の方々によるドライバー登録が進まないことも考えられますので、最低限の運行を確保する観点から、交通事業者の一部運行を担っていただくことも検討が必要かと考えております。

今回は報告事項として皆様に説明させていただきましたが、必要に応じて議題に格上げして審議してまいりたいと考えております。以上となります。

(会長・竹下)

ただ今、事務局より説明がありました、「地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について」ご質問・ご意見等がありますでしょうか。



(小湊鉄道・加藤)

小湊鉄道の加藤と申します。自家用有償旅客運送のダイヤの例を資料に記載していただいておりますが、勝浦市としては路線バスとの間隔がどの程度なら自家用有償旅客運送を走らせるとかイメージはあるのでしょうか。例えば間隔が1時間とか2時間とか。

(事務局・渡邊)

お答えします。現在、この地域は国道297号線にバス停が設置され路線バスが運行されている状況ですが、今回、自家用有償旅客運送を導入を検討しようとしているのは、国道から離れた集落到住まわれる方々の移動手段の確保という観点でして、市街地に向かう途中で国道も走るようになりますが、バスが運行している時間帯でもそのような地域の方はバスは利用できない状況と認識しております。路線バスの間隔に具体的な基準はイメージしていませんが、路線バスのダイヤにぶつけるようなことはしないというのが現在の考えです。

(小湊鉄道・加藤)

バス路線を運行している立場としては、バス停まで歩けないという方は仕方ないとは思いますが、これによりバス利用者が減ってしまうとバス路線の撤退も考えなきゃいけないというような話にもなりますので、今後、歩み寄っていただけたらと考えております。

(事務局・渡邊)

こういった運行を登録するにあたっては、交通事業者とも当然地元の方々とも協議をしながら行うよう国からも示されておりますので、十分そこは協議させていただきたいと考えております。ありがとうございます。

(成田委員)

デマンドタクシーの拡充と自家用有償旅客運送についてあるんですが合わせてよろしいでしょうか。

デマンドタクシーの拡充案については理解しました。少し気になりましたのは、新たに共通乗降場所を設置し、さらに共通乗降場所を相互に乗降可能とするということでありまして、現在400円という運賃でございますが、乗車の回数が増えれば運賃も上がってくる訳でありまして、その辺りの公平感というか公平性という観点でどのように考えているのかが1つとですね、勝浦駅を中心としてデマンドタクシーが通常のタクシーに近い運行となる訳で、民営のタクシーとの調整については、協議会にかけてというよりも事前に既存のタクシー事業との調整が必要だと思います。また、このデマンドタクシーの拡充については、いつ頃のスタートを考えているのかこれも質問になります。

それから自家用有償旅客運送制度を活用したマイカー相乗りによる共助型公共交通、これも検討ということで説明がありましたが、このような運行については法律で認められているのですが、今回説明があった運行については誰の責任で運行されるのか、また、運行に使用する車両は勝浦市が用意した車両なのか、または地域の方のマイカーを使うということなのか、マイカーを使うということになりますと、車検だとか安全上のチェックの問題もあります。加入している保険の内容も異なります。そういう部分も含めて、安全という観点で十分に情報を収集して検討を進めていただきたとご指摘させていただきたいと思

います。

千葉県内でもこのような取組をしてる地域がございますが、ドライバーとして募集になかなか応じてもらえないという状況もあります。また、家族や親戚の間では無償で相乗りをしている状況もある中で、今回のような公的な運送が始まった場合に地域の方に押しつけるようなことがあると、これまでうまくいっていたものもうまういなくなってしまうので、地域の実情や意見を十分に聞き取って検討を進めていただきたいと思います。

地域の方によるドライバーが確保できない場合には交通事業者による運行も考えているという説明でしたが、この辺りがはっきりしないと交通事業者としても理解が難しいような気がします。

(事務局・渡邊)

デマンドタクシーにつきましては、共通乗降場所間における乗降であっても1乗車につき400円の運賃が発生することを検討しております。それから、タクシー事業との兼ね合いのお話がありましたが、交通事業者との協議は十分にした上で、今回の拡充の案についても導入を検討して参りたいと考えております。また、導入の時期についてですが、現在のデマンドタクシーの交通事業者との運行契約が来年の9月末までとなっておりますので、翌月の10月から導入できたらと考えております。現在は小湊鉄道さんに運行をお願いしておりますが、10月からの運行につきましては、改めて運行事業者の選定を年度当初の4月か5月に実施したいと考えておりますので、運行内容について今年度内に協議会にお諮りし決定したいと考えております。

次に自家用有償旅客運送についてでございますが、運行の主体は勝浦市となります。車両は誰が用意するのかというお話があったかと思いますが、マイカー相乗りとありますとおり地域住民の方の車両を想定しております。保険につきましても、朝日町さんを参考にいたしますと個人が加入する保険により対応しているとのことでした。ただし、ドライバーへの登録の基準として、対人対物それぞれ無制限の保険に加入していること、また、年齢についても75歳以下などとしているようでございます。

身内での相乗りと今回検討をすすめているの公的な相乗りとの関係でございますが、私個人としては身内で有償の相乗りというのは聞いたことがありませんが、市といたしますと身内に限らず、地域として自動車による定期的な移動をしている方と、移動手段をもたない方の移動ニーズとをこの仕組みでマッチングできたらと考えております。成田委員のおっしゃられたとおり、その辺の実情だとか要望や意見は十分に聞き取ったうえで検討を進めて参りたいと思います。

今回の自家用有償旅客運送については、今回初めて公的な場で話をさせていただいておりますので、今後、地域でも話を伺えればと考えております。

(成田委員)

詳細に説明をしていただきありがとうございます。デマンドタクシーの拡充については来年の10月からの導入で、年度内には運行の内容を固めたいとありますが、特に交通事業者との調整には十分な時間が必要となると思います。今回も議題となっている訳ではありませんので、年度内にも協議会を開催する予定があるのかお聞きしたいのが1点。

それからマイカーを使った自家用有償旅客運送についても理解しましたが、私の話が誤解されていると思いましたのであえて発言させていただきますと、身内での相乗りは無償

ですね。すでに無償で行われている相乗りについて、有償運送を導入しても利用が進まないのではないかということです。地域に押しつけるような形でないほうが長く続くのではないかと思いますので、地域の方の話を十分に聴取していただきたと思います。

（事務局・渡邊）

デマンドタクシーの拡充の話のところで交通事業者との調整の話がありましたけども、私の認識が間違っていたら申し訳ありませんが、最終的にはこういった会議の中で承認されるということは、そこに参加されてる交通事業者にもご了解いただたと考えていいのではと考えておりましたが、そうではないということでしょうか。

（成田委員）

今日示された資料では乗降場所くらいしか示されていないので、もう少し具体的な運用を含めて示していただき、会議にかけないと判断できないだろうという意味です。今年度中に来年10月からの委託契約の内容を決めたいのであれば、もう1回は協議会を開催する考えですかという質問です。

（事務局・渡邊）

今年度、最低でも2回は協議会を開催したいと考えておまして、協議会での協議のほか、交通事業者さんとの協議は個別にさせていただきたと考えております。最終的には協議会に諮り承認いただいたところで、交通事業者さんにもご理解いただけたと判断したいと考えております。

自家用有償旅客運送のところで、身内での相乗りについて有償と聞き間違っておりました。身内や親戚での無償の相乗りについては、それはそれでいいことだと思いますので、今回の有償での運送が始まったとしても、有償による運送を押しつけるようなことは考えておりません。地域の実情をよくよく聞きまして進めていけたらと考えております。

（事務局・青山）

地域住民の方々の意見をよく聞くということということなんですけども、それはもちろんそういうふうに行っていきたいなと思ひまして、今回の資料にも松野・中倉そういった地区での運行を例示というふうに書かせていただいているんですけども、ここの地区に限定してやるというよりも、こういった地区に声をかけて、うちの地区は合わないなということでしたら、ほかの地区とかも考えると、そういったことも合わせて探っていきたいなというふうに考えております。この地区だけで考えているって訳ではなくて、まだ、住民の方には話はしていませんが、導入するなら今のところ諸条件を考えるとこういった地区が一番効果的なのかなと思ひまして例示させていただきました。

（小湊鉄道・加藤）

資料③のデマンドタクシーの運行区域を示した図ですが、興津地区のミレーニアの部分については路線バスを運行していて、ここの部分ががぶっているんですが、表記上そのようにせざるを得なかったのか、それとも今後拡充していく考えがあるのかどちらでしょうか。

(事務局・渡邊)

現在、興津の西側はデマンドタクシーを運行しておりますが、資料の中でミレーニアの部分がデマンドタクシーの運行区域にかかっているのは、作図上の問題でありまして、現時点でミレーニアにデマンドタクシーの運行を広げようとする考えはありません。

(小湊鉄道・加藤)

そうだとすると資料を見て勘違いされる可能性もありますので、資料を修正することはできますか。

(事務局・渡邊)

この会議については、終了後に議事録や会議資料を公開しますので、今の加藤さんとのやりとりも含めて議事録に残し、資料を差し替えたうえで公開したいと思います。

(成田委員)

今、資料を差し替えるとの話がありましたが、本日、欠席されている委員もおりますので、事務局には面倒をおかけしますが、私も差し替え後の資料を送付していただきたいと思いますがいかがでしょうか。

(事務局・渡邊)

そうしましたら、本日ご出席いただいている方を含めてすべての方に、議事録と修正した資料③を送付させていただきたいと思います。

(成田委員)

資料の送付と公開は同じ時期と思ってよろしいでしょうか。

(事務局・渡邊)

議事録の確認と資料の公開については、同時に内部決裁を取りますので、同じタイミングになります。

(高橋委員)

千葉運輸支局の高橋と申します。いつもありがとうございます。資料③にあるような取組については、道路運送法の手続きが必要となると思いますので、輸送担当と相談なり協議をしていただきますようお願いいたします。もう1点なんですが、路線バスの勝浦・御宿線をデマンドタクシーに替えていくという話なんですが、すでにご相談もいただいておりますが、フィーダー補助金を活用するのであれば、勝浦市の地域公共交通計画の変更が必要となると思いますので交通企画課（横浜）とのご協議も合わせてお願いいたします。

(事務局・渡邊)

自家用有償旅客運送については千葉運輸支局ともよく相談しなさいとも示されておりますので、輸送担当の方ともよく協議させていただきたいと思います。それから、フィーダー補助金を使っている勝浦市のデマンドタクシーを御宿町まで延ばすということであれば、勝浦市の地域公共交通計画の変更と合わせて、現在作成中と聞いておりますが、御宿町の

地域公共交通計画のほうにもその旨の記載が必要だということを交通企画課からご助言いただいておりますので、御宿町とも連携して進めて参りたいと考えております。ありがとうございます。

(会長・竹下)

他にご質問・ご意見はございませんか。他にご質問もないようでございますので、この件につきましては、事務局で引き続き検討・協議を進めたうえで、協議会で報告または議題として審議をすることといたします。

これにて「報告」については終了となります。

次に、その他として何かありますでしょうか。

何も無いようでしたら、本日の会議はこれをもちまして閉会といたします。

長らくのご審議ありがとうございました。